

2005年の区画整理関係主要記事

専務理事 蔵敷明秀

2005年の年末に当たって、今年の区画整理事業の話題を新聞記事から検索しました。「日経テレコン21」という日経4紙の全文検索システムで、検索用語を「区画整理」とし、2005年1月から12月までの1年間を対象にしました。2003年にも同様の作業をして、事務局だよりNo.145(2003.12.20)に掲載しましたので、これと対比しながら最近の傾向を述べたいと思います。

(1) 新規地区

栃木県宇都宮駅東口、東京都府中市南武線新駅周辺、静岡県湖西市、愛知県春日井市熊野桜佐地区、大阪市北区曾根崎(敷地整序)、大阪市梅田貨物駅跡地の6地区で事業化に向けて進展がありました。北海道新函館駅周辺、群馬県富岡市富岡製糸場周辺、東京都墨田区押上業平橋地区、福井駅周辺、熊本駅周辺等、11地区で計画の進展がありました。2003年では両者合わせて8地区でしたから、新規地区の記事は倍増しています。

(2) 大規模商業施設

岩手県盛岡南新都心、宮城県名取市下増田、茨城県守谷駅周辺、千葉県柏市柏の葉駅周辺等から、沖縄県那覇新都心まで17地区において大規模商業施設の立地に進展がありました。2003年では5地区でしたから、この関係の記事は3倍以上に増加しています。このほかユニークな商業施設として東京都汐留地区のイタリア街、滋賀県彦根市の四番町スクエアが紹介されています。

(3) 計画の廃止、変更

千葉県市原市、徳島市で計画の廃止がありました。また、縮小等の計画変更が埼玉県本庄市、神戸市でありました。事業の財政再建に向けた取り組みが、茨城県守谷市守谷東地区、大阪市此花西部地区、奈良県香芝市旭ヶ丘地区(特定調停)でありました。広島市では組合の財政破綻が報じられています。

(4) 宅地活用

民間デベロッパーによる数百戸規模の大規模な戸建て分譲団地の立地が、首都圏近郊の5箇所の区画整理事業地区で報じられています。また工場誘致が3地区で決定、そのほか一部上場企業本社の誘致、研究所の立地、市民団体の活動、まちづくりルールの策定、セキュリティ問題など多岐にわたる報道がされています。

区画整理事業が報道される機会が増加していることは確かです。これは区画整理事業に伴う各種の活動が活発化しているとともに、大規模商業施設の立地など社会に与える影響が大きくなっているためと考えられます。我々区画整理事業に携わる者は事業地区内だけでなく、まちづくりに対する責任を負っていることを改めて痛感しました。

「依田記念講演会」開催のお知らせ

(財)区画整理促進機構では、依田記念講演会を下記のとおり開催します。

今回の依田記念講演は、「都市機構のまちづくりとタウンセキュリティ」と題し、各方面の専門家を講師としてお迎えしてご講演をいただきます。

日時 平成18年1月25日(水)14:00～16:30

会場 都市計画会館 会議室(3F)

(東京都千代田区紀尾井町3番32号)

内容 都市機構のまちづくりとタウンセキュリティ

講師 近藤秀明氏((独)都市再生機構理事)、山中淳郎氏(東急セキュリティ(株))、

榎本幹郎氏((株)フジタ)、高木祥澄氏(ナビ・コミュニティ(株))

受講料 (財)区画整理促進機構の出捐団体、賛助会員、登録専門家 無料

上記以外 3,000円(当日受付時に申し受けます)

申込期限 平成18年1月18日(水) 定員50名

定員になり次第締め切らせていただきます。

問合せ先 (財)区画整理促進機構 企画部 電話 03-3230-4964

「業務代行組合区画整理講習会 ～業務代行の展望～」の開催報告

平成17年11月25日(金)、当促進機構会議室において、「業務代行組合区画整理講習会～業務代行の展望～」を開催いたしました。

この講習会では、業務代行組合区画整理の理解と効果的な活用を図るため、その手法と事例紹介、

および今後の業務代行のあり方についての解説をいたしました。業務代行方式を検討されている組合・準備組合や市町村の担当職員、業務代行者等から18名の参加があり活発な質疑がなされ、組合や公共団体から期待されているところも多いと感じられました。今後も引き続き制度の周知及び活用を図って行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



中心市街地活性化講習会2005 ～多様な主体によるまちなか活性化～ の開催報告

中心市街地活性化に携わる関係者の方々を対象に、11月28日(月)に日本教育会館にて講習会を開催し、134名のご参加をいただきました。

本講習会は今年で8回目を迎え、今回は「多様な主体によるまちなか活性化」をテーマに都市型観光の要素も含み、行政や地域住民、NPO、TMO、商店街などといった多様な主体が当事者意識を持ち自らの役割を果たしつつ、連携、協働してまちづくりに取り組んでいる事例について、先進的に取り組まれている方々を講師にお迎えし、その具体的な取り組み状況を紹介いたしました。



講習会プログラム

国土交通省講演	国土交通省 都市・地域整備局 市街地整備課長 竹内 直文 「中心市街地活性化について」
基調講演	東京海洋大学 海洋工学部 教授 高橋 洋二 「パブリックインボルブメントの意義と課題」 ～社会実験を通して～
都市型観光	北九州市 門司港レトロ室 企画振興課長 大川 博己 「門司港レトロ地区の歩みと展望」 ～新しい都市型観光拠点の整備～
まちの賑わい作りの仕掛け	彦根市 都市計画課 副主幹 寺田 修 「みわくのまちづくり」 ～彦根市中心市街地活性化に向けた取り組み～
賑わい作りの維持管理	特定非営利活動法人 KAOの会 理事・事務局長 下田 祥裕 「駅前広場および民間所有地の一体的な整備と官民協働による一元管理」 ～東武鎌ヶ谷駅周辺での活動より～

主催：中心市街地活性化推進支援協議会

後援：国土交通省、独立行政法人都市再生機構、市街地整備促進協議会

なお、本講習会で配布したテキストをご希望の方がおられましたら、街なか再生全国支援センター発行分に限り実費販売(2,200円・送料無料)いたしております。

問合せ先 (財)区画整理促進機構 総務部 TEL 03-3230-4513
FAX 03-3230-4514

まちづくりとファイナンスのための講習会(東京会場)の開催報告

12月2日(金)に、当機構と都市計画コンサルタント協会が共催する、まちづくりとファイナンスのための講習会(東京会場)が全共連ビルにて開催され、63名のご参加をいただきました。

講師に亜細亜大学大学院 講師 野口秀行氏をお迎えし、都市整備事業等において、いかに資金調達を行うかなど、そのしゅみをわかりやすく解説いただき、参加者の方々から大変高い評価をいただきました。

講師:野口秀行氏

内容:都市計画の財政化とファイナンス
プロジェクトファイナンスの基礎
不動産の証券化とREITの誕生
PFI事業の課題と成功のポイント
ライトダウンとTIF

社会実験の後援報告

当機構が後援し、大分県佐伯市の「中心市街地まちづくり活動メンバー」が主催した「佐伯まちなか夢市場 豊後舟盛祭」が、平成17年11月26日、27日の2日間にわたり開催されました。デパートの閉店に伴う跡地利用の可能性を探るため、その跡地に地域の特産物を集めた試行事業(社会実験)を行ったところ、この2日間で約2万人の方が訪れ、大変なにぎわいを見ることができました。



29種類の食材が盛られた「豊後舟盛」

秋の叙勲受章報告

(財)区画整理促進機構の元常務理事 皆川保広氏が平成17年秋の叙勲(11月3日付け)において、建設行政事務功勞により瑞宝小綬章を受章しましたことを報告いたします。

販売図書のおしらせ

小規模区画整理のすすめ —これからの街なか土地活用—
B5判・176頁・定価3,360円(税込み・送料無料)

既成市街地で実施する小規模な区画整理について、メリット、事例、手続きの方法などを取りまとめたもので、大変わかりやすく充実した内容です。全国の皆様に大好評をいただいている「小規模区画整理のすすめ出前講習会」のテキストとしても使用しています。

下記のホームページより図書購入申込書を印刷してFAXにてお申し込みください。
http://www.sokusin.or.jp/book/b_index.html

問合せ先 (財)区画整理促進機構 総務部 TEL 03-3230-4513
FAX 03-3230-4514

問合せ先

(財)区画整理促進機構
TEL 03-3230-4513

[←戻る](#)

Copyright (C) OPKP. All Rights Reserved